

授業科目名	心理学	授業形態	講義	配当学期	1年（前期）
担当教員名	仲山 晃生	単位数	1単位	時間数	30時間
授業概要 学習目標	<p>〔授業概要〕</p> <p>これまでに行われた心理学研究を紹介しながら、私たちの心の働きについて広く概観したいと思います。リハビリテーションの場面で出会う事象についても、心理学の立場から解説していきます。</p> <p>〔学習目標〕</p> <p>(1) 人間に共通する心の作用や行動について理解する。無自覚的・潜在的な心の働きがあることについても理解する。</p> <p>(2) 心の働きには個人差や文化差といった多様性が存在し、個人の中でも発達や状況によるゆらぎがあることを理解する。</p>				
授業回数	授業内容				
第 1 回	ガイダンス・心理学とは 心理学とはどのような学問か、心理学の研究対象について。				
第 2 回	感覚・知覚① 外界を理解する心のはたらきについて。感覚のしくみとはたらきについて。				
第 3 回	感覚・知覚② 知覚のしくみとはたらきについて。ゲシュタルト要因など。				
第 4 回	記憶 記憶のメカニズムについて。感覚・短期記憶と作業記憶、長期記憶について。				
第 5 回	思考・言語 問題解決：アルゴリズムとヒューリスティクスについて。				
第 6 回	学習 古典的条件づけとオペラント条件づけ。学習の理論について。				
第 7 回	感情と動機づけ① 感情の生理的要素、行動的要素、主観的要素について。				
第 8 回	感情と動機づけ② 感情のメカニズムについて。動機づけとは。				
第 9 回	性格とパーソナリティ① 性格の理論：類型論と特性論。				
第 10 回	性格とパーソナリティ② 構造論。性格の測定について。				
第 11 回	社会と集団 対人知覚、原因帰属について。集団について。				
第 12 回	心の発達① 発達の段階と課題。				
第 13 回	心の発達② 乳幼児、児童・青年、成人・高齢者の発達。				
第 14 回	ライフサイクル 人間は一生発達する。				
第 15 回	まとめ 今まで学んできたことをふりかえり整理する。				
評価方法	筆記試験（100%）				
教科書 参考図書	〔教科書〕 言語聴覚士のための心理学（医歯薬出版）				
履修上の 留意点	なし				
メッセージ	医療従事者として多くの人に接する皆さんは多くの人「こころ」に接することになります。他者の心を大事に取り扱うためには、心がどのようなクセを持っているか知っておくことが必要です。				